

## 第8回WTO閣僚会議(スイス・ジュネーブ)の結果概要について

平成23年12月  
農林水産省

森本農林水産大臣政務官は、第8回WTO閣僚会議(2年に1回の定例閣僚会議)に出席し、関係者と意見交換を行った。

### 1. 日程・出席者

日程:12月15日(木)～17日(土)、スイス・ジュネーブ

出席国:WTO加盟全153カ国及び新規加盟申請国(ロシア等)

(我が国から、枝野経産大臣、中野外務政務官、室井国交政務官も出席。)

### 2. 第8回WTO閣僚会議

閣僚会議においては、①議長総括文書(別紙)の発出、②ロシア等の新規加盟の承認、③政府調達協定改訂交渉の妥結がなされた。

(1) 議長総括文書には、

- ・ 多角的貿易体制の重要性や保護主義に対抗していくべきこと、
  - ・ 途上国(特に後発開発途上国)の開発を優先すべきこと、
  - ・ ドーハ・ラウンド交渉については、その行き詰まりを認めつつ、部分合意も含め新たな手法により打開の道を探るべきこと、
- 等が盛り込まれた。

(2) 森本政務官からは、(ア)高まる食料安全保障への国際的関心を背景に、「多様な農業の共存」を可能とする貿易ルールの重要性、(イ)輸出規制・規律に対してより厳格なルールの必要性を主張。

### 3. 各国閣僚等との意見交換(森本政務官)

(1) ラミー事務局長、カナダ、豪州、コロンビア、チリ、ペルー:

- ・ 貿易、食料安全保障等に関して意見交換。

(2) アダック農業交渉議長、マクック次期ルール交渉議長:

- ・ 農業及び漁業補助金交渉における我が国の立場を説明。

(3) デ・グフト欧州貿易委員、ナビウリナ・ロシア経済開発大臣等:

- ・ 日本食品の輸入規制問題について、科学に基づく冷静な対応を要請。

## 第8回WTO閣僚会議「議長総括」 (アガンガ議長が発出したもの)

アガンガ議長(ナイジェリア貿易大臣)より、議長の責任でとりまとめたものとして、議長総括文書を発出。ポイントは以下の通り。

### (1) 多国間貿易システムの重要性

- ・ WTO上の権利・義務を認識しつつ、全ての形態の保護主義に強く対抗していく
- ・ WTO通常委員会の作業の重要性を認識し、これを強化・改善する

### (2) 貿易と開発

- ・ WTOの作業において、「開発」が核であることを確認し、後発途上国(LDC)の関心を優先することを約束する
- ・ 綿花問題に関して、香港閣僚宣言での合意に沿って、野心的、迅速に取り組むことを約束する

### (3) ドーハ・ラウンド交渉

- ・ 交渉が行き詰まっていることを深く憂慮。近い将来に交渉の全ての分野について一括合意することは難しいが、合意に向け積極的に作業していく
- ・ 進展が可能な分野についての合意を先行して前進させるとともに、特に難しい分野について行き詰まりを打開する努力を強化する